

じょう ど しんしゅう

いっ さつ

浄土真宗がこの一冊でわかる！

サンプル

完全ガイド
全ふりがな付き

お経から知る はじめての 浄土真宗



毎日が忙しいあなたにホッと一息

お経を楽しむ為の仏教の基礎知識や

「南無阿弥陀仏」の意味など全てわかる！

正信偈(お経)及び和讃六首引と御文章など

すべて現代語訳&かんたん解説付きで

お参りやご法事でもそのまま使える一冊です！

南無阿弥陀仏～ あえてよかった
このいのち



解説担当: ひかりちゃん

本として読める！
心温まるお坊さんのお話付き！

法蔵菩薩さんが私たちにに向けて48個の願いを立てて阿弥陀仏という仏になるお話からスタート！

スマホで読めるAmazon Kindle版あり

浄土真宗本願寺派布教使監修

目次

お経から知る初めての浄土真宗（仏教や浄土真宗の基礎）	1
浄土三部経について（無量寿経、観無量寿経、阿弥陀経）	14
正信偈（正信念仏偈）	17
和讃六首引（弥陀成仏のこのかたは）	48
恩徳讃	61
御文章（聖人一流章）	63
重要ポイント	64
最後に（尊い命、五重塔や金閣寺、東京スカイツリーなどのお話）	66
著者紹介	69

お経から知るはじめての浄土真宗

はじめまして！解説担当させていただきます『ひかり』と申します。

じょうとしんしゅう

浄土真宗ってなあに？仏教ってなあに？と疑問をお持ちの方に向けて

わたし かんたん かいせつ

私が簡単に解説をさせていただきます！よろしくお願い致します。

ねが いた

そもそも浄土真宗って？簡単に説明致します！



解説担当：ひかりちゃん

じょうとしんしゅう

浄土真宗は、親鸞聖人（西暦 1173-1263）が浄土宗の法然上人（西暦 1133-1212）の元で

なも あみだぶつ

しょうさい まな

あみだぶつ（仏様）

わたし

いのち

すべ

（よ）

そ

すで

いっしょ

南無阿弥陀仏の詳細を学ばれ「阿弥陀仏が私たちが命あるもの全てに寄り添って、既に一緒

くだ

はなし

たいへんよろこ

ぜんこく

ひろ

はじ

じょうとしんしゅう

下さっていた」お話を大変喜ばれ、全国に広められたところから始まりました。また浄土真宗

じょうとしんしゅう

なも あみだぶつ

とな

あみだぶつ

ぶつきょう

わたし

つた

と浄土宗は「南無阿弥陀仏」とよくお称えしますが、これは阿弥陀仏や仏教を私たちに伝え

くだ

たがた

かんしや

ねんぶつ

い など

じょうどぶつきょう

おし

よ

わたし

て下さった方々への感謝のお念仏の意味等があります。浄土仏教の教えは、「この世で私たち

いのち

え

つ（亡くなった時）

お

ごけんくじょうど

きよ

ばしよ

ほとけさま

ゆ

う

の命のご縁が尽きた時、終わりではなく極楽浄土という清らかな場所に仏様として往き生ま

サ

れるんだよ。なぜなら阿弥陀仏が私たちの浄土往生を願って下さってるからですよ。」という

(要約)

全文を読んでここに戻ってくるとわかるよ!

ここからお話スタートだよ!

しょう しん げ
正信偈 (右 草譜)
ぎょうしんしゅう
(左 行譜)
せうしんげ
磬二声〇〇 出音 ハ調レ

しょうしんげ
正信偈は西暦150-1250年頃までの7人の高僧方の「浄土仏教の教え」を
しんぐんしやうじん せいれき
浄土真宗を開かれた親鸞聖人(西暦1173-1263)が詩形式にしてわかりやす
なあみだぶつ
く示して下さったものです。「なぜ南無阿弥陀仏なのか」を法蔵菩薩さんが
あみだぶつ
阿弥陀仏になれる話からスタートし、7人の高僧方が順に
より詳しく示していきます。是非、聞いて見てみましょう!

● 帰命無量寿如来

きみよう きえ (無限の寿命を持つ) (ここではあみだぶつの事を指す)
(帰命 〓 帰依する) (量り知れ無い命) (如来 〓 阿弥陀仏)

同音 なもふかしぎ
南無不可思議光

なも (古代インド語の帰依の意) きえ (人間が思いはかる事が不可能)
(南無 〓 ナマス 〓 帰依) (不思議 〓 思議できない)

法蔵菩薩因位時

あみだぶつ ひとじだい なまえ
(阿弥陀仏の人時代の名前)

在自在王仏所

ほうぞうぼさつ のち あみだぶつ

※ 法蔵菩薩は後の阿弥陀仏になれるお方です。

仏教では悟りを開いて仏になることが目的で、
菩薩は仏になるための修行中の位です (如来の位を目指している) 如来 〓 仏でOK

わたし 帰依 (きえ) します
私の身をお任せします。

(阿弥陀仏の救いの手がどこまでも届き続けている事) (阿弥陀仏)
思いはかることのできない光の如来を

わたし こころ よ 帰依 (きえ) します
私の心の依りどころにします。

ほうぞうぼさつ いんに ほとけ
法蔵菩薩 〓 さんが因位 (仏になるための

しゅぎよう だんかい
修行をしておられる段階) のときに、

せじざいおうぶつ ほうぞうぼさつ しぶつ
世自在王仏さん (法蔵菩薩の師仏) の

みもと (目の前) で、

一首目 ハ調レ

みだじようぶつ

● 弥陀成仏のこのかたは

同音

いまに十劫をへたまへり

法身の光輪きはもなく

世の盲冥をてらすなり

サンプル

あみだぶつ じっこう はる むかし

阿弥陀仏は、十劫という遙か昔に、

すべ い い 読者

全ての生きとし生けるもの（特に私）を

すく 四十八個の願いと誓い

救うという願いを表明し、それによって

ほとけ いらい ねが 成就

仏となりました。以来、その願いは実現し、

特に十八番目の願いが重要 一つの時代でもはたらき続け

救いの力となつて無限の命を持ち、

こんにち いた た ま つづ

今日に至るまで絶え間なくはたらき続けて

います。そして、そのはたらきは、光が ひかり

どんな暗闇の中でも、煩惱の闇に惑わされて くらやみ なか 煩わしい悩み まど

決して悟ることができない私たちを、 け さと わたし

ひとりのこ しんじつ めざ

一人残らず真実に目覚めさせるように、

全体を照らし尽くしていくのです。

ぜんたい て っ

全体を照らし尽くしていくのです。

48

恩徳讃

● 如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝すべし

サンプリ

あみだによらい (どのように救おうか、五劫思惟というはかりしれないほどの阿弥陀如来が私たちを迷いの世界から救い

極めて長い時間思案して苦勞下さった事への)

出そうとしてご苦勞下さったご恩、そして

すで わたし いつもご一緒して下さっている

既に私たちに寄り添ってくださっている

おお じあい おん

大いなる慈愛へのご恩は、

どれだけ尽力しても

身を粉にするほどにしても

かんしゃ

感謝してもしきれません

しゃかさま

お釈迦様をはじめとして仏法をお勧め

阿弥陀様のお話

すす

してくださった先師方々 (祖父母や父母や

せんしかたがた

そふぼ

ふぼ

ゆうじんなど

さまざま

かたがた

おん

ご友人等の様々な方々) へのご恩も

どれだけ尽力しても

骨を砕く思いなほどに

かんしゃ

感謝してもしきれません。

